

創業110周年の企業紹介



代表取締役社長 三藤 治喜氏

ミフジ(株)

創 業 ● 1904年 1月

所 在 地 ● 津市東丸之内5-8

電話番号 ● 059-226-2662

代 表 者 ● 代表取締役社長 三藤 治喜

事業内容 ● 紙卸商

これまでのあゆみ

- 明治37年 紙商を創業
- 昭和23年 合名会社三藤紙店に改組
- 昭和27年 戦後の店舗改装
- 昭和53年 ミフジビル株式会社設立
ミフジビル完成・新店舗開店
- 昭和55年 合名会社三藤紙店とミフジビル株式会社が合併
ミフジビル株式会社が存続会社になり、
さらにミフジ株式会社に改組
- 平成5年 本社・小売店舗改装(松菱増床)
- 平成16年 現在地に本社・小売店舗移転
- 平成26年 創立110周年



●貴社の事業内容について

弊社は、卸売業として、洋紙・封筒・コピー用紙などを県下の印刷会社やユーザーに納めています。東丸之内の本社で受注して、なぎさ町近くの海岸町倉庫をデリバリー拠点として県下各地に配送しています。すなわち紙卸商です。



店内の様子

また、小売業として、東丸之内の店舗で筆記具・文具・和紙・洋紙・書道用品・雑貨などを販売しています。文具店が一番近い業態ですが、もともと紙問屋の特色が色濃く、紙類を豊富に扱っています。また和雑貨・フレグランスなど感性を頼りに商品選定をし、非常に個性的な店舗になっています。

●事業を営んでいる中でご苦労された点について

創業は明治37年です。ちょうど日露戦争開戦の年です。日本が坂の上の雲を見上げていた時代に紙屋をはじめます。それ以前も江戸期より商売をしていて、法衣(袈裟)の商いをしていたそうです。創業時はいろいろ苦労があったと思われませんが、曾曾祖父の信用で比較的順調なスタートを切ったみたいです。曾祖父から祖父へと引き継がれる中で、江戸期よりの商法をもとに帳簿の近代化が行なわれますが、今でも当時と同じシステムが残っています。戦時中の統制経済と昭和20年7月の空襲で店と自宅を焼失し、焼け野原に呆然とたたずむ祖父の心中を想像すると、少々弱音を吐けないと自戒しなければなりません。その後賃貸用ビルの建設、海岸町倉庫の建設、本社・店舗の移転等いろいろなことがありましたが、すべてを失った戦災がわが社の一番の危機だったと思います。

●今後の抱負

メディアやデバイスの多様化で紙の持っている機能が脅かされていますが、紙の持つ優位な機能がある限り市場は十分に存在し続けると思います。「求められるから供給が成り立つ」という当たり前の視点で用途・ニーズを見極め、存在意義を発揮していきたいと思っています。

また既存商品以外に、伊勢木綿製品・絵葉書などに代表される、地域色を出した製品の開発を積極的に行ない、出店販売とネット販売を駆使して、新たなマーケットづくりに努めていきたいと思っています。



現在の社屋